



RDEデータセットテンプレート生成・編集ツールの紹介

2025/03/22 NIMS MDPF

RDEデータセットテンプレート生成・編集ツールについて

- RDEデータセットテンプレート(json)を表形式情報から生成し、その生成ファイルがRDEのデータ登録(送り状)画面でどのように表示されるか確認するためのツールです。
- エクセル形式の書式ファイルからデータセットテンプレートを生成するツールと、その生成ファイルをプレビューする二つのツールを組み合わせで利用します。
- RDEデータセットテンプレート生成ツールは、データセットテンプレート3種類を作成します。
- RDEデータセットテンプレート編集ツールは、VScodeのプラグインとして利用でき、生成ファイルをプレビューすることができます。

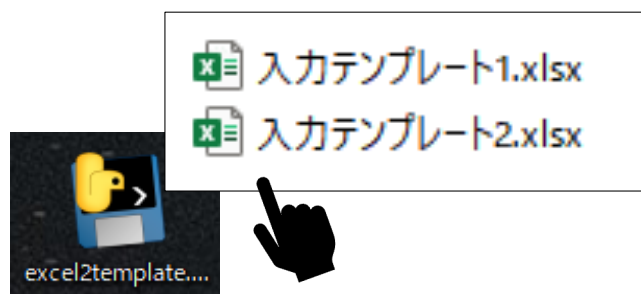
データセットテンプレートの構成ファイル

RDEデータセットテンプレートの構成ファイルは次のとおりです。
これらのファイルのうち、表中で※を付けたものがデータセットテンプレート生成・編集ツールの対象です。

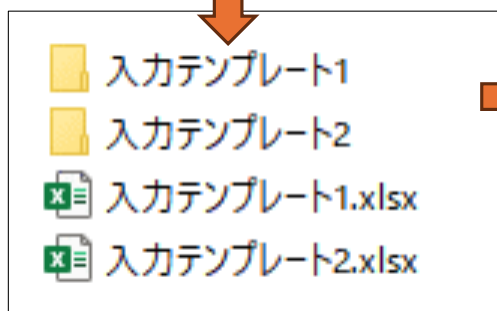
ファイル種類	ファイル名	内容
送り状スキーマファイル※	invoice.schema.json	送状画面の生成などに利用される。手入力情報などのメタデータを定義する。
メタデータ定義ファイル※	metadata-def.json	主に構造化処理による登録ファイルから抽出したメタデータを定義する。
カタログスキーマファイル※	catalog.schema.json	データセット詳細のカタログ画面に利用される
バッチ定義	jobs.template.yaml	バッチ定義。構造化処理バッチの処理内容を記述する
データ構造化定義	batch.yaml	データ構造化定義(既定のpool以外を利用する場合などに利用)
タスク補助ファイル (tasksupport)	任意	構造化処理で利用する上記以外のファイル
Dockerコンテナイメージ	任意	構造化処理プログラムと実行環境

RDEデータセットテンプレート生成・編集ツールの使い方

①ツールをショートカットでデスクトップなどに配置



②対象フォルダをドラッグ&ドロップ



③ツールが起動してファイルの作成

④プラグインをインストールしたVSCodeで開く

⑤Previewボタンを押すとプレビューされる

⑥変更箇所があれば入力テンプレートを編集し
②以降を実行して繰り返し編集

